

愛知県の新築住宅で発生した黒いハチ

先日、愛知県名古屋市の注文住宅を手がける会社の関係者から黒いハチについての問い合わせがあった。お客さんの新築住宅で多数発生したということで、どういうハチなのか調べて欲しいという依頼であった。写真からはハナバチのようであったが、全身黒く、胸部と前伸腹節の周辺に白い毛が密生している。見たことがない種類のハチで、ひょっとすると外材といっしょに進入した外来種の可能性もある。体色が黒く写真では形態がわからないので、死んだ個体を郵送してもらった。

問題のハチは、腹部の腹面に毛が密生していることから、ハキリバチ科の一種であることがわかった。体色と毛の色からネジロハキリバチ (*Megachile (Callomegachile) disjunctiformis*) の可能性が高い。このハチは本州中部以南に生息し、成虫は8月に発生するという。

そこで、日曜日に久しぶりに岐阜市三田洞にハチの調査にでかけた。ヤブガラシの花には、スズメバチ、アシナガバチ、クモバチが多くいた。今年はずっとヒメスズメバチが多いようであった。例年スギハラクモバチが多くいるのであるが、今年はまったく見かけなかった。ヤブガラシの花の周辺を飛び回る変わった小型のハチがいた。よくみるとオキナワシリアゲコバチであった。数年前にみかけた場所と同じであったため、その周辺に定着しているものと思われる。動きが活発なため近づいて接写するのは困難で、残念ながらいい写真は撮れなかった。

この日は、ヤノトガリハキリバチ、ハラアカヤドリハキリバチ、ルリモンハナバチ、アオスジコハナバチなどをみかけた。これらのハチは、今年の夏も終わりに近づいていることを物語っている。



ヤブガラシの花に集まるヒメスズメバチ (2017.08.20)